

A Very Special Penguin

Recently a lot of people told me that penguins are their favourite animal, so I want to tell the story of a very special penguin who lives in Scotland. Edinburgh Zoo, in the capital city of Scotland, received their first penguin from Norway in 1913. They now have a large penguin enclosure which is home to Gentoo, King and Rock Hopper penguins, but one of their penguins is especially unique.

In 1972, a Norwegian Army Major organised the adoption of one of the zoo's King penguins by His Majesty the King of Norway's Guard. The penguin was named Nils, after the Major, and Olav, the King of Norway at the time. Every year the King's Guard visit Nils Olav (now Nils Olav III) and he has steadily been promoted up the ranks from only the Guard's mascot to mascot and Brigadier Sir in 2016. He even received the special award of a knighthood in 2008 from the King of Norway. If you visit Edinburgh Zoo he is easy to spot because he has a special, silver armband. He also has his own gold statues which sits outside the zoo's penguin enclosure and another at the King's Guard compound. The photograph used in this article was kindly provided by Edinburgh zoo and there is also very cute video taken during Nils Olav III's Knighthood ceremony on the Zoo's website so please take a look at it by using this link.



とても特別なペンギン

ALT(外国語指導助手)ロビン

最近、ペンギンが一番好きな動物だということも多くの人から聞いたので、スコットランドにいたらとても特別なペンギンの話をしたいと思います。スコットランドの首都にあるエディンバラ動物園は、1913年にノルウェーから初めてペンギンを譲り受けました。現在、ジェンツーペンギン、キングペンギン、イワトビペンギンがいる大きな囲いがあり、その中にいる1匹のペンギンが特にユニークです。

1972年にノルウェーの陸軍少佐は、動物園のキングペンギン1匹と養子縁組をして、キングズガード(国王の警備隊)にマスコットとして正式採用するように手配しました。ペンギンは「Nils」という少佐の名前と、「Olav」という当時のノルウェー王の名前から、「ニルス・オーラブ」と名付けられました。キングズガードは、毎年、ニルス・オーラブ(現在はニルス・オーラブ3世)を訪ねており、マスコットとしての役割に加え、准将にまで着実に昇進し、2008年にはノルウェー王から騎士号の地位をも授かりました。エディンバラ動物園に訪れた時には、彼は特別な銀色の腕章をつけているので、簡単に見つけることができます。また、ペンギンの囲いの外とキングズガードの敷地内には、彼の金色の像が座っています。この記事で使用した写真はエディンバラ動物園から提供されており、騎士号の授与式で撮影されたとても可愛い動画が動物園のウェブサイトにあるので、このリンクからご覧ください。

<https://www.edinburghzoo.org.uk/animals-and-attractions/sir-nils-olav/>



入賞おめでとうございます

上毛町文化協会の方々が各大会で入賞されました。

■第32回おくいお茶新俳句大賞(東京都)

【佳作特別賞】 十葉を干して藁屋の軒高し

■第14回ひびしん俳句大賞(北九州市)

【理事長賞】 実直な夫の育てし曲り瓜

■第29回ふくおか県民文化祭短歌大会(福岡市)

【入賞】 今日もまた散り来る桜の花びらを全身に浴び畑耕す

■第29回ふくおか県民文化祭俳句大会(北九州市)

【秀作】 山の端に昼の月あり西瓜畑

新涼や風呂に引き込む山の水

耕して人住む奈落蕎麦の花

蛇口より水漏れてゐる原爆忌

十六夜や硯の海のうす明り

樹に群るる鴨や雀や日脚伸ぶ

立秋やインク匂へる朝刊紙

年の瀬の誰とも触れぬ手を洗ふ

雨の日は雨を愉しみ額の花

汲みたての井戸の水の香初時雨

沈む日を嶺にとどめて返り花

学び舎の記念樹高し鵬日和

ふる里の丸き卓袱台根深汁

水打って石庭青く暮れにけり

一つ聞き一つ忘るる小春かな

ふるさとの山の近々夏座敷

培へる畑の敷藁くつわ虫

遠花火ふと父母の顔夫の顔

■第23回横光利一俳句大会(宇佐市)

【佳作】 萍や暮れて高まる水の水

蛸や薪風呂に引く山の水

若鮎の尾びれ光らせ上りけり

泥の足洗ふ水口夕ぼたる

鍋肌に灰汁まといつく薄暑かな

白南風や練習船の拳手の礼

真夜中の厨にさわぐ浅蜩かな

丸刈りの子らの頭や夏来たる

どの道をゆくも満月影法師

ひき潮や島まで歩く磯遊び

男らの今日はいずこの鯨釣に

岩花 太美(西友枝)

白木すなえ(西友枝)

大木本法通(有野)

尾形 忍(西友枝)

小野 澄子(大ノ瀬)

熊谷 文子(垂水)

田長丸桂子(中津市)

内藤 節子(成恒)

中山恵美子(土佐井)

原井みえ子(糸島市)

飯田勢津子(土佐井)

